



かごしま 市民のひろば

2010年(平成22年) 第513号

人とみどりが
輝くまち
かごしま



市旗

市の人口(推計)
平成22年1月1日現在(前月比)

人口総数	605,855人	(+ 62)
男	281,137人	(+ 40)
女	324,718人	(+ 22)
世帯数	265,087世帯	(△ 17)



■編集と発行
鹿児島市広報課
〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号
TEL.099-224-1111(市役所代表)
TEL.099-216-1133(広報課直通)
FAX.099-216-1134
Eメール
kouhou4@city.kagoshima.lg.jp

市民のひろばは点字版・音声テープ版も発行しています
配布を希望する人は広報課へ

■ホームページ(携帯版同じ)
<http://www.city.kagoshima.lg.jp>

バーコードリーダー付きの携帯電話で、右の二次元コードを読み取るとアクセスできます



■配布に関するお問い合わせ
南日本リビング新聞社
TEL.099-239-8124

【主な内容】

- 特集 人と動物が共生できる社会を目指して..... 8・9
- 市政総合..... 2~4
 - ・鹿児島中央駅市民サービスセンター・市民プラザ
 - ・平成20年度決算状況
 - ・市・県民税申告は近くの会場で早めに手続きを
 - イベント・講座..... 5~7
 - ・かごしま春季スポーツキャンプ情報
 - ・流水とともに北海道からやってきたクリオネ
 - ・環境未来館でエコ活動をスタートしませんか
 - 暮らしのガイド..... 10・11
 - ・平和都市宣言標語入賞作品
 - ・都市農業センター市民農園
 - 健康・福祉..... 12・13
 - ・住宅手当緊急特別措置事業
 - ・郷土料理教室
 - すこやか鹿児島っ子..... 14・15
 - ・有育情報から青少年を守りましょう
 - ・子どもの定期予防接種

みんなで育てたよ。 ふるさとの野菜 桜島大根

桜洲小学校4年生の子どもたちが生産農家・重久清隆さんの指導を受けながら大切に育てた桜島大根が収穫の時期を迎えました。

活発な活動を続けている桜島の降灰と昨年9月に雨が少なかった影響で、今年は例年よりやや小ぶりの出来となりましたが、それでも約8キロもの桜島大根が土の中から顔を出すと、歓声が上がりました。

桜島地域では、今月21日まで桜島大根フェアを開催中。旬の桜島大根を味わいませんか。

市民とともに

鹿児島市長
森博幸

■若者とのふれあいトーク

幕末の日本を駆け抜けた坂本龍馬の生涯を描いた大河ドラマ「龍馬伝」が始まりました。龍馬と同じ時代を生きた郷土の先人たちも活躍する、激動の幕末から明治維新において、大きな気概を持って、近代日本の礎(いしずえ)を築いていったのは、まさに熱い志を持った多くの若者たちでした。

先日「市長とふれあいトーク」を市立玉龍中・高校と鹿児島大学で行いました。その中で日ごろあまり接する機会のない生徒や学生の皆さん方から、鹿児島市にきて感じたことや身近な生活上の問題、市政やまちづくりなど、ユニークな意見や提案をたくさんいただきました。



鹿児島大学にて

話をお聞きしながら、青少年たちが自分たちのまちについて、いま何を考え、どのような思いを持っているのか、その真剣さに感動し頼もしく思うと同時に、大きな勇氣をもらうことでした。

刻々と変化する激動の時代にあって、次の世代を担う若い皆さんが、鹿児島の、そして日本の輝く未来の創造のため、それぞれにとつての「坂の上の雲」を目指し、これから大きく飛躍してほしいと心から願っています。

■節分に思う

今月三日は「節分」です。節分はもともと各季節の始まり(立春、立夏、立秋、立冬)の前日とされてきました。特に立春が一年の初めの節分となることから、最初の節分と言えは春を指すようになったと言われています。現代では、豆まきをし、「鬼は外、福は内」と大きな声で豆をまいて、家族の健康と幸せを願う行事になっています。

さて、市政におけるこの時季は、本年度の業務や事業の仕上げと、新しい年度の準備を行う大事な期間です。特に、来春には九州新幹線が全線開業いたします。そのことも見据えて、鹿児島の新たな時代に向けた様々な施策に積極的に挑戦していかねばなりません。

日増しに春の訪れが感じられる季節を迎えます。夢と希望の持てるまちづくりに市民の皆さんとともに全力で取り組んでまいりたいと、節分にあたり決意を新たにしたいところです。

(大切なものは保存しておきましょう)